

地対協コーナー

県地対協では、心疾患を抱えている広島県民の健康保持・増進を図るため、「心筋梗塞・心不全手帳 地域連携パス」を作成し、県内医療機関や県民の求めに応じて配付しています。

本手帳は、自己管理手帳としてのみならず、患者さんとその家族、さらに患者さんに関わるさまざまな職種間のコミュニケーション・情報共有ツールとしても活用され、多くの方々から高い評価をいただいております。

そして、このたび、更なる利便性の向上や利用対象の拡大を目指して、9年ぶりに本手帳の改訂を行う運びとなりました。

改訂後は、手帳の名称を「わたしの手帳 地域連携パス」へと改め、また利用対象に「心臓病」「脳卒中」の両患者を含めることに伴って資料ページの更新・新設を行いました。

改訂を機に、これまで以上に県民の皆さま、医療関係職種の皆さまのお役に立つことを期待しておりますので、ご入り用の際は地対協事務局までお問い合わせください。なお、改訂後の手帳は、令和7年10月より配布開始する予定です。

今号は、7月に開催した委員会の報告をお届けします。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の各委員会活動などは、地対協ホームページ (<https://www.citaikyo.jp/>)へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

○救急医療特別委員会 第2回救急搬送支援システム実証実験WG

日 時：令和7年7月7日(月)18時30分

場 所：広島県医師会館 3階 301会議室/

Web

WG長：楠 真二

広島県の現行実証実験で運用するNSER mobile (TXP Medical株式会社提供システム)のコンセプトペーパーの作成、「広島県救急搬送支援システム」次期実証実験の方針等について、広島県およびTXP Medical株式会社から報告を受け、意見交換を行った。

報告事項

1 NSER mobileのコンセプトペーパーについて

TXP Medical株式会社が開発した「NSER mobile」について、現在広島県で行っている救急搬送支援システムの実証実験において集積されたデータを用い、その仕組みやどのようなデータが集積できるのかを研究論文としてまとめ発表することで、今後の学術研究の基盤を構築し、研究の促進を目的としたコンセプトペーパーの作成および発信を計画していることが説明された。

本実証実験では、対象期間中(令和5年10月～令和6年12月)、NSER mobileを使用して医療

機関に搬送された全搬送症例を対象に、消防別搬送件数、搬送傷病種別、患者背景(年齢、性別、既往歴、バイタルサインなど)、時間情報(現場滞在時間、搬送時間、病院との交渉時間)などの基本情報を収集・解析し、収集された全搬送症例を対象とした後ろ向き記述研究を行う。

本研究にあたっては、広島県にデータ利用の承諾を得ており、自治体・大学・事業者の3者で進めていく。

委員からは、今後のデータ活用における取り扱いについて、必要な手続きを経よう言及された。

2 「広島県救急搬送支援システム」次期実証実験について

令和7年10月から開始する次期実証実験の事業者は、公募型プロポーザル方式による入札手続きを経て選定され、6月30日に開催された選定委員会での審査により、

- ・県内外の関係機関へ十分なヒアリングと検証を行い、実績に基づく具体的な提案およびシステムの機能が詳細まで検討されていること
- ・広島県の課題に対して、現行実証実験を進展させる明確な目的意識と具体的な実行体制、先行事例に裏付けられた提案がなされたことなどの理由からTXP Medical株式会社が最優秀提案者として選定された。

次期実証実験の方針等について、システム構成や画面レイアウト、現行実証実験における課題解決方法に加え、次期実証実験開始までの操作研修・説明会等のスケジュールが示された。

議事全体に係る委員からの意見・要望および質疑応答は、以下のとおり。[抜粋]

- ・現在、消防のOAシステムで集めて国に報告しているデータも救急医療情報連携プラットフォーム上に集めることを想定しているのか。
⇒国が求める要綱では「消防のOAシステムとプラットフォームが直接つながる」旨の記述はない。しかし、救急医療情報連携プラットフォームから消防にデータが渡せる仕組み(APIによるエクスポート)は求めている。

今は直接接続を想定しておらず、必要に応じて民間ベンダー等との個別連携が必要

と考える。

- ・広島県内では地域ごとに異なるシステムが導入されており、消防や医療機関は複数のシステムに対応する必要があることから業務の非効率や混乱を招きかねない。こうした状況を改善するためには、ベンダーに依存しない共通APIの導入が不可欠と考える。
- ・全国共通の連携プラットフォームについて、一元化された共通インターフェースの整備が求められる。また、民間事業者の撤退や買収リスクを考慮し、業務継続性を確保するためには自治体レベルでも利用可能な簡素かつ標準化された消防機関向けのWebベースの仕組みを構築する必要がある。
- ・次期実証実験では、現実証実験のデータを基盤として扱うことから、データの帰属先や法的課題を含むあらゆる側面での事前検討をしておく必要がある。

県地対協からの提供資料について

県地対協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

【地域連携クリティカルパス】

- わたしの手帳 地域連携パス (Ver.7)
- わたしの手帳 乳がん
- わたしの手帳 肺がん
- わたしの手帳 前立腺がん
- わたしの手帳 甲状腺がん
- わたしの手帳 肝がん

- わたしの手帳 大腸がん
 - わたしの手帳 大腸がん内視鏡治療後
 - わたしの手帳 胃がん
 - わたしの手帳 胃がん内視鏡治療後
- など

【パンフレット・マニュアル】

ACPの手引き 豊かな人生とともに～私の心づもり～

【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaikyo@hiroshima.med.or.jp



わたしの手帳
地域連携パス (Ver.7)



わたしの手帳
乳がん



わたしの手帳
肺がん



わたしの手帳
前立腺がん



わたしの手帳
甲状腺がん



わたしの手帳
肝がん



わたしの手帳
大腸がん



わたしの手帳
大腸がん内視鏡治療後



わたしの手帳
胃がん



わたしの手帳
胃がん内視鏡治療後



ACPの手引き
豊かな人生とともに
～私の心づもり～

など

※一部ホームページにて公開中

広島県 地対協

検索